

平成28年度
四倉中学校

学校だより

5月19日(木) 第8号

文責 校長 中根 猛

経済教育施設ファイナンスパークで学びました

5月17日(火)に2年生は、体験型経済教育施設(エリム)内のファイナンス・パークで経済学習を行いました。模擬店舗が並んでいる施設の中で、生徒一人ひとりに(年齢や家族構成、年収など)条件が設定され、それに従って生活のための支出計画を立てていく学習をしました。お金を生活の中でどう生かして使っていくか、将来に備えて貯蓄や生命保険をどうするかなどを体験しました。この体験学習で大切にしていることは、「自分で考える」「自分で選択する」「自分で決定する」ということです。大人になるための準備として、自分のことは自分で決めるということを学ぶことができました。

この体験研修をサポートしていただくために2学年保護者の皆様にボランティアの募集を行いました。6名の保護者の皆様にボランティアとして当日ご協力いただきました。生徒のグループに入っただき途中の段階での生徒の作業確認や質問への対応などの支援をしていただきました。ありがとうございました。

なお、本日が本年度の研修開始日にあたるため開講式と新たに企業ブースを設置していただいたジブラルタ生命さんのブースのテープカットセレモニーがありました。その中で、代表あいさつとして前川夏穂さんが、感謝の言葉と「将来に必要な知識を得たいと思います」と抱負を述べました。その後のテープカットを、いわき市教育長さんやジブラルタ生命さんと一緒に渡邊圭祐君と千葉奈央さんが行いました。

性に関する指導教室を開催しました

5月17日(火)の5時間目に3年生を対象にした「性に関する指導教室」を開催しました。講師に、福島県立医科大学地域産婦人科支援講座教授で、いわき市立総合磐城共立病院産婦人科医師の本多つよし先生にお越しいただきご講話をしていただきました。中学生の時期は、子どもの体から大人の体に急激で劇的な変化が見られる時です。体についての不安や悩みをかかえたり、性や異性に対する関心が高まる時期でもあります。

本多先生から、「今、10代の性が危ない 10代の性感染症の現状を考える」というテーマで思春期の体の変化、人工妊娠中絶、性感染症についてご指導をしていただきました。お話の中で、「性行為は、自分と相手の健康に責任を持つこと」「自分の行動を律して、子育てができるようになるまで性行為をしないこと」「きちんとした知識を持ってきちんとした行動をとってほしい」ということが印象深かったです。将来、何か起きたときに思い出して、今日の話役立てて欲しいと思います。最後に、保健常任委員長の鈴木岳杜君がお礼の言葉を述べて閉会しました。

「白銀の松」の苗木を植樹しました

5月18日(水)に「白銀の松」の種子より育てた、松の苗木の植樹を行いました。

白銀の松は、平成20年10月24日に、松の腐朽した枝を切る治療がなされました。病害虫に蝕まれ上層部の枝の腐朽が広がり、安全面の確保や松の延命処置が必要になったからです。

また、「白銀の松」の子孫を確保するために、「白銀の松」の松ぼっくりより種子を採取し造園業者さんに依頼して苗木の育成を開始しました。しかし、東日本大震災により、苗木が被害を受け再度、種子からの育成を余儀なくされました。その苗木も五年を経過し、植樹に適するまで成長しました。梅雨入りを前に、50本の苗木を校舎北側のフェンスに沿い校門より海側に向かって植樹しました。昼休みには、生徒会役員による植樹を行いました。当分の間は、水やりが必要です。数十年後の黒松の姿を思いやりながら大切に育てていきたいと思っています。